

県内企業における課題(意見聴取内容)

○調査対象機関等

1. アンケート調査・・・ 8市・9町
経済5団体(香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、
香川経済同友会、香川県中小企業団体中央会、香川県中小企業家同友会)
2. 聴き取り調査・・・ 5機関
百十四銀行、香川銀行、JETRO、産業技術センター、かがわ産業支援財団
3. 実施月・・・ 平成29年 5月

○調査結果

上記の各団体等から県内企業における課題として挙げられたものは92件あった。そのうち、最も多かったのは人材や人手不足であり、またそれ起因する課題も多く挙げられた。主なものは次のとおりである。

	企業の課題
横断的戦略1 (独自の強みを持つ企業の競争力強化の支援)	製品・サービスなどの高付加価値化(研究開発体制の強化など) 生産性の向上(ロボット、IoT、AIの活用など)
	創業・ベンチャー企業の創出(事業活動の周知、人材、資金の確保など)
	販路拡大(市場ニーズの変化への対応、得意技術の活用、零細企業の統合など)
横断的戦略2 (海外市場に挑む企業の事業展開の支援)	人材の確保(語学や現地の法律制度等に明るい者の採用、留学生の育成など)
	販路開拓(販売ノウハウの獲得、電子商取引の活用など)
	情報不足(自社製品の世界での価値や現地の情勢など) 貿易実務、販売ルートの確立など
横断的戦略3 (産業の成長を支える人材の育成・確保)	人材・人手不足など
	若手の育成・定着率の向上、高齢者の働く場所の確保など
	女性活躍のための企業の幹部や男性の意識改革など
	技術の承継、働き方改革の推進など
横断的戦略4 (企業立地や企業活動を支えるための産業基盤の強化)	立地可能な土地の確保など
	大都市までの高い物流コスト、工業用水の整備など
その他	事業承継(後継者の育成、県内企業の周知など)
	災害への対応、基幹的産業、製造業以外への支援など

※課題の詳細は別紙のとおり

		企業の課題	
横断的戦略1 (独自の強みを持つ企業の競争力強化の支援)	1 「県内企業の研究開発力の強化支援」について	技術力の向上、研究開発体制の強化	
	2 「県内企業の第二創業等の創出促進」について	潜在的な創業者の掘り起し	
	3 「ベンチャー企業の創出促進」について	ベンチャー企業の事業活動の周知 フランチャイズなど、一定の利益が見込める事業でも人が集められないという理由でやる人がいない 創業間もない経営者の支援。スタートアップ段階での資金調達の多様化・容易化	
	4 「基盤技術の強化・生産性向上等」について	中小企業では生産性向上のためのシステム化等が遅れているところもある(2件) 技術の承継 生産管理・品質管理の専任の技術者がいる企業は多くない、また、AI・IoTを導入するための人材が県内には不足している 合理化、ロボット・IoT・AIの活用、高付加価値化など	
	5 「マーケティング力の強化支援」について	付加価値の高い新商品の開発 既存製品・サービスの高付加価値化 市場(ニーズ)の衰退(市場(ニーズ)の変化への対応) ニーズに基づいた商品開発 得意技術(コア技術)を生かした取引先の拡大	
	6 「資金面での支援」について	技術力、発展性、将来性等を評価した支援	
	7 「人的ネットワークの拡大」について		
	8 そのほか課題として考えられることなど	零細企業の統合・合併の推進による、稼働率向上、商品開発、販路拡大 中小零細企業は組織的、人的に余裕がなく、情報収集や手続きに時間を割くのが難しい 県外への販路開拓のため大卒者を採用したいが確保できない 知的財産の有効活用や、知識がなくリスクマネジメントができていない企業もある 大学・大企業等と県内中小企業との知財マッチング	
	横断的戦略2 (海外市場に挑む企業の事業展開の支援)	1 「新たに海外展開に取り組む県内企業の支援」について	貿易実務、販売ルートの確立が困難
		2 「上海地域におけるビジネス支援体制の強化」について	
		3 「海外展開を担う人材育成」について	留学生の雇用に興味があるが、教育する仕組みが1社では難しい 英語ができる人材が少ない 現地の法律や制度に明るい人材の確保 留学生などの採用による自社の文化等を理解している人材の育成・活用 育成の機会がない
		4 「県産品の海外販路開拓の推進」について	継続的な販売やPR 生産の海外展開のノウハウはあるが、販売のノウハウが不足している企業もある
		5 「海外ミッションの派遣」について	
		6 「支援機関ネットワークの連携強化」について	
7 そのほか課題として考えられることなど		1社では取り組むことが難しい。現地法人との繋がりが弱い。現地の情報を得る手段がない。 自社製品が世界で、どの程度の価値(価格や競争力)を持っているのかわかっていない。進出先(取引先)との直接商談、アドバイスを受ける機会の不足。外国企業をビジネスパートナーとして考えていない 電子商取引を通じた海外での販売	

		企業の課題	
横断的戦略3 (産業の成長を支える人材の育成・確保)	1 「産業人材の育成」について	まさに今必要 経営力を持った人材の育成 育成してもなかなか定着しない 人・モノ・金と言われるが中小企業では人材育成が最後になりがち 若手の育成が課題	
	2 「県内企業の人材確保の支援」について	人材確保に苦慮(4件) 人手不足が課題(4件) 人材確保・育成 慢性的な人手不足 人材不足が強い業種への外国人の採用 都会の大学に進学し戻ってこない 就職後の定着率の向上	
	3 「女性の職業能力の発揮促進」について	女性の労働力の確保、ワークライフバランスに対する意識の醸成・普及 ワークライフバランスや女性活躍推進を図るための企業経営者の意識改革 経営幹部や男性社員の意識改革など 技術職が慢性的に不足、技術職としての女性の育成 人材の不足 女性の仕事が限定されている	
	4 「高齢者の就業促進」について	高齢者の働く場所が少ない 人材確保ができないので高齢者に頼っている 新規求職者の減少	
	5 「技術・技能の伝承」について	時間のゆとりがなく、技術の伝承は困難 高齢化による技術継承 現場での技術の伝承	
	6 そのほか課題として考えられることなど	企業と求職者の意識のズレ(給与額、福利厚生等) 残業がなく休暇が取れる福利厚生 人手不足解消につながる多様な人材の活躍推進 働き方改革の推進 人手不足には給与形態を明らかにしない事業者側の問題もある 人はいても適材適所ではない	
	横断的戦略4 (企業立地や企業活動を支えるための産業基盤の強化)	1 「戦略的企業誘致施策の強化」について	用地を見つけることが困難(2件) 立地可能な土地が少ない(2件) 工業用水の整備
		2 「広域交通ネットワークの充実・強化」について	大都市までの物流コストが高い
		3 「県内企業支援のための地域プラットフォームの強化」について	
		4 そのほか課題として考えられることなど	企業誘致助成制度の指定企業が人手不足で条件を満たせない

企業の課題	
その他	1 「人材確保」について
	事業承継
	新規従業員の確保はもとより、後継者が決まってない
	計画的に後継者を育成することが必要
	後継者・技術者・現場で働く人材が確保できない
	後継者・人材不足
	若者の地元定着
	学生、親などが県内企業を知らないための大企業偏重や都市圏への流出
	海外からの人材の確保・育成
	後継者・人材不足
	支払う給与額と希望する給与額のミスマッチ
	離職防止(職場環境、福利厚生、企業の魅力向上等)。若手経営者の悩みの解決やモチベーション維持
	2 「企業の災害への対応」について
	災害発生時の金融機関の決済延期等の迅速な手続き
	災害への危機感が希薄
	災害発生時の企業、行政の連携対応
	BCPについてはある程度の規模(50～100名)の企業でないと対応は難しい
	3 このほか、本県経済の持続的な発展のための課題として考えられること 等
	基幹的産業以外の発展
	製造業以外への支援
	人手不足による受注・販売機会の損失。事業承継の潜在的な支援対象の掘り起し
子供に会社を引き継ぐ例は以前に比べれば減った	
事業承継・M&Aにはコストがかかる(隠れた債務の調査等)ことがネックとなり、うまくいかないこともある	
HACCAP(ハサップ)の取得が義務化される動きがあり、設備の対応等を取る必要となる可能性がある	